

【続・頭の中の整理方法】

今回の資料は、「続・頭の中の整理方法」として「書き方2：全体像を冒頭に書く」の考えを使った頭の中の整理方法です。「書き方2：全体像を冒頭に書く」とは、「伝える内容の全体像を冒頭に書き、伝える内容の詳細をその後に書くこと」です。

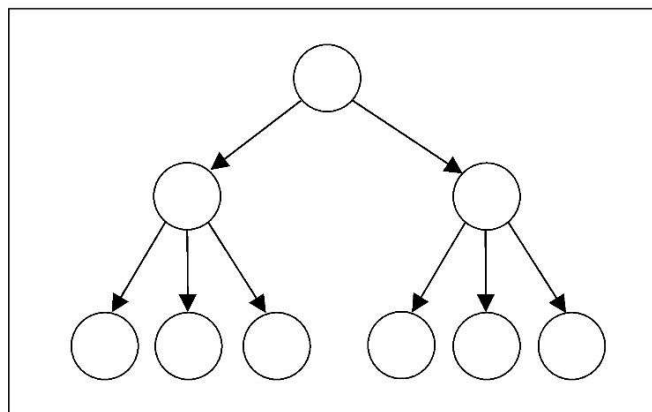
1. 木を見て森を見ず

頭の中が未整理の状態とは、「木を見て森を見ず」のような状態です。「木を見て森を見ず」とは、「細部にこだわりすぎて物事の全体像や本質を見失うこと」です。

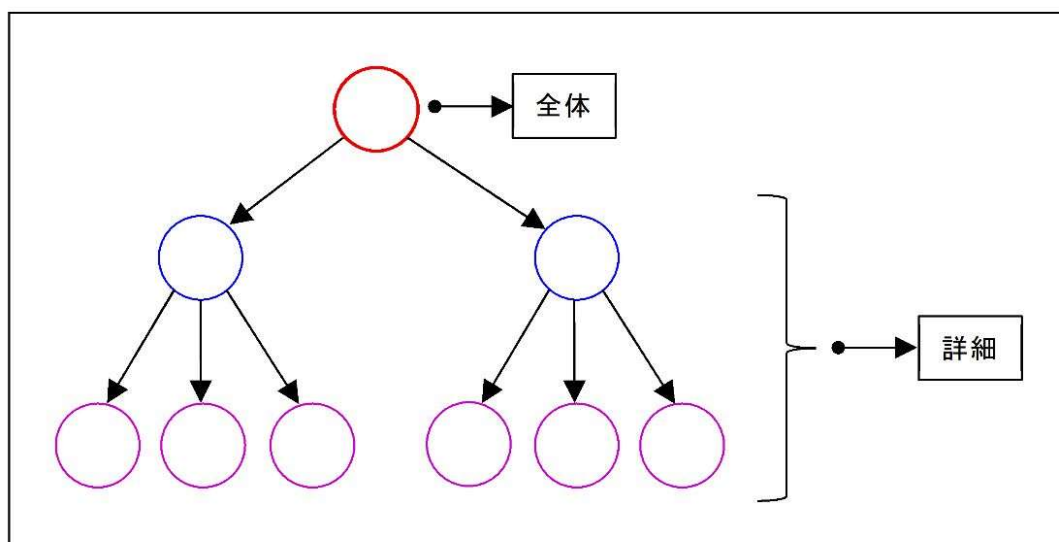
また、頭の中が未整理の状態とは、「頭の中が交通渋滞になっている状態」と表現することもできます。

2. トップダウン的な考え

トップダウンとは、企業や組織の上層部が経営方針や施策を決定し下部の現場に指示する意思決定の方法です。トップダウンを図に示すと以下のようになります。



「書き方2：全体像を冒頭に書く」は、「トップダウン的な考え」と表現することもできます。書き方2は、以下のような流れになると考えることができるからです。



3. 「書き方 2：全体像を冒頭に書く」の考え方で頭の中が整理できる

頭の中が未整理だと考えがまとまりません。頭の中が「木を見て森を見ず」のような状態だからです。このような状態になったときには「書き方 2：全体像を冒頭に書く」の考え方、つまり、トップダウン的な考え方で頭の中を整理してください。「全体から個」の考え方です。全体をまず考え次に個々を考えれば頭の中が整理できます。

以 上